

重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会の取組事例

～危機管理型水位計を設置～

「危機管理型水位計」とは

- ◆「危機管理型水位計」は、よりきめ細やかな河川水位の把握に資するため、洪水時に特化した水位計で、これまで水位計の無かった河川や地先レベルでの水位把握が必要な地点に設置し、水位観測網の充実を図るためのものです。

○平成30年6月27日(水)に、重信川左岸9k付近の堤防に設置し、運用を開始しています。



位置図



水位センサー(水圧式)



通信、電源装置等

PC・スマホから
<https://k.river.go.jp/>



配信画面